

2018年1月17日

報道機関関係者の皆さまへ

尚綱学院大学シンポジウム 「再生可能エネルギー事業と地域経済効果」 の開催について

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
東日本大震災後、急速に着目される「地域再エネ事業」。地域にはどのような効果がもたらされているのでしょうか？尚綱学院大学では、産官学の最新の取り組みを紹介し、地域に好循環をもたらす再エネ事業のあり方を考えるシンポジウムを開催します。
地域分散型エネルギーシステムの地域経済効果に関する最先端の研究と、実際の東北地域における最新の取組を紹介しながら、産官学で再エネを基盤とした地域再形成のあり方を議論していきます。
つきましてはお忙しい時期とは存じますが、是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

【日 時】2018年1月27日（土）13:00～15:00

【内 容】

- ◆開会挨拶：13:00～
- ◆講演1：13:05～
「自治体の再生可能エネルギー事業と経済効果の研究」
講演者：中山 琢夫
(京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座 特定助教)
- ◆講演2：13:45～
「山形県最上町の木質バイオマス熱供給事業と地域効果の実際」
講演者：眞柄 利秋（最上町ボランティアガイド協議会ツアーガイド）
- ◆ディスカッション&質疑応答：14:25～
「地域好循環をもたらす再エネ事業のあり方とは？」
コーディネーター：東 愛子（尚綱学院大学 環境構想学科 准教授）
- ◆展示コーナー
 - 企画①「伊予の名取」と「宮城の名取」
 - 企画②「尚綱の森再生プロジェクト紹介」
 - 企画③「2017年環境マルシェ報告及び2018年出展者募集案内」

【場 所】地下鉄東西線国際センター駅2階 市民交流施設「青葉の風テラス」



＜リリースに関するお問合せ先＞

主催：尚綱学院大学 環境デザイン教育研究センター、環境構想学科

担当：環境構想学科 准教授 東愛子

TEL/FAX: 022-381-3479

Email: a.azuma@shokei.ac.jp